

# 電子付録ファイルへのアクセス法

## 検索結果

検索結果

検索条件 お気に入り検索に追加

- 記事属性: 電子付録あり
- 記述言語: 日本語
- 発行年: 2015年～

検索結果 5件

5件の検索結果より1～5件を表示しています。 ソート  20 件ずつ表示

**当該記事名をクリック**

1

**創剤研究コンソーシアムの理念と活動** 422-424  
藤田 卓也  
ファルマシア  
Vol. 52 (2016) No. 5  
公開日: 2016年05月01日

**過飽和・可溶化による難溶性薬物の溶解性改善** 397-401  
森部 久仁一  
ファルマシア  
Vol. 52 (2016) No. 5  
公開日: 2016年05月01日



ファルマシア **ジャーナル** 記事言語: Japanese  
Vol. 52 (2016) No. 5 p. 422-424  
DOI [http://doi.org/10.14894/faruawpsj.52\\_5\\_422](http://doi.org/10.14894/faruawpsj.52_5_422)  
話題

**創剤研究コンソーシアムの理念と活動**  
藤田 卓也<sup>1)</sup>  
1) 立命館大学薬学部分子薬物動態学研究室  
公開日 20160501  
キーワード: 創剤研究コンソーシアム, 産学連携, 製剤開発, 吸収性評価分科会

抄録   **電子付録のタブをクリックすると、IDとパスワードの入力後、電子付録リストをご覧になれます。**

立命館大学では、1994年の「理工学部のびわこくさ」推進体制を整備し、その活動に精力的に取り組んできている。2008年に本学に薬学部、生命科学部が、2010年にスポーツ健康科学部が設置され、本学においても医療・健康科学分野への研究・教育展開が進められるに伴い、所属教員の有する「知識」「技術」と産業基盤との連携を進めるため、当時の薬学部長であった北泰行教授と伊吹リン太郎客員教授、藤田が中心となり、2011年度に「創薬科学研究センター」を設立した。センターといっても建物などの実体はなく、創薬から製剤までの「薬のものづくり」全般を見据えた「産学連携による研究・開発活動の拠点」を意味するものである。